

して、雇用の創出を図ります。  
 今後は、公募で委託事業者を決定し、必要な物品などの購入、展示物の設置などを経て、今年5月のオープンを目指します。

### 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の支給結果

各給付金の支給実績については、臨時福祉給付金は、支給対象者1万8259人のうち95・1%にあたる1万7368人から申請があり、支給総額は2億2970万円となっています。

子育て世帯臨時特例給付金は、支給対象者4415人のうち99・0%にあたる4369人から申請があり、支給総額は7205万円となっています。

これらの支給事業については、国の予算案に伴い、平成27年度も実施する予定です。

### 平成27年産米の生産数量目標

平成27年産米の生産数量目標について、26年産米に比べて886トン少ない2万831トンが提示されました。これを受けて大館市農業再生協議会では、全農家に対する配分率を昨年より2・2ポイント少ない55・6%に決定し、2月20日に生産調整方針作成者であるJAなどへ通知しました。

今回の通知では、生産数量目標のほか、過剰な在庫を解消させる目安となる「自主的取組参考値」についても付記

しており、平成30年の生産調整廃止に向けて自主的な生産の判断を促しています。

配分率の県内格差については、格差解消を強く県に要望してきているところ、25年産までの3年間で11・2ポイントから5・6ポイントに縮小され、更に今後は28年産及び29年産の2年間で2・8ポイントまで縮小されることが決定しています。



### 地域雇用・経済対策

この春の市内高校卒業予定者の就職については1月末現在、内定率は94・3%です。特に県内就職希望者140人に対する市内企業からの求人は306人と好調であり、求人倍率は2・2倍となっています。

また、昨年12月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は、景気の上向き傾向を反映して1・13倍となっていて、現在の統計方法になった平成13年4月以降の最高値を更新しています。

「緊急雇用創出等臨時対策基金事業」による雇用状況については、平成26・27年度の2年で事業費総額約2億1600万円、24事業、118人の雇用を見込んでいます。  
 一方、市の制度融資「マル大」、「マル

大小口」については、平成26年度から融資資金に対する利子補給制度を開始したこともあり、1月末現在の融資額は前年同期比で、「マル大」が1・87倍、「マル大小口」が3・43倍となっていて、昨年7月に開始した資格取得支援事業については、1月末現在、113人に対し約450万円を補助しています。今後も、地域雇用の確保や労働力の質的向上などに取り組みます。

### 北陽中学校の開校

第二、花岡、矢立の3中学校が3月31日をもってその歴史に幕を下ろし、4月に北陽中学校が開校します。3校ではこれまでに生徒間の交流や合同学習など、統合に向けた環境づくりを進めていて、学校行事や部活動などもスムーズに移行できると考えています。

また、現在建設中の長者森橋が4月に開通予定で、通学路への街灯設置もよって、花岡・矢立方面からの通学の利便性向上と生徒の安全確保が図られると考えています。

新たに開校する学校が、地域の期待にこたえて、輝く歴史を刻んでいくよう、今後も、児童・生徒の学習及び生活環境の向上に向けて取り組みます。



### 呼吸器外科の設置

市立総合病院では、新たな診療科として呼吸器外科を設置し、常勤医師2人で4月から診療を開始します。

これによって、従来大学病院などへ紹介していた肺がんなどの呼吸器疾患の手術や治療が当院で行えるようになり、患者さんの負担軽減、更には迅速な診断と治療による医療の質の向上につながると考えています。

今回の診療科の設置は、秋田県及び秋田大学の支援によって実現しました。今後も地域がん診療連携拠点病院として、一層の機能充実に努めます。

### そのほかの報告

- ・源泉所得税の徴収漏れ及び固定資産税等の課税誤り
- ・豪雨災害復旧事業等の進捗状況
- ・第5次行財政改革大綱の実施状況
- ・生活困窮者自立支援事業の実施
- ・第6期介護保険事業計画
- ・インフルエンザ感染予防対策
- ・米価下落対策
- ・農業農村整備事業の状況
- ・企業誘致の状況等
- ・冬まつり
- ・道路等の整備状況
- ・教育委員会制度の改正
- ・新下川沿公民館の供用開始
- ・高機能指令センター整備事業の進捗状況